

=====

CAPSシリーズ 更新モジュールリリースのご連絡

=====

平素は、弊社パッケージをご利用いただきありがとうございます。  
この度更新モジュールをリリースいたしましたのでご案内させていただきます。

////////// リリースノート //////////

対象パッケージ 総称 : CAPS for CARDNET  
パッケージ名称詳細 : CAPS for CARDNET Version1.6.0  
管理番号 : SR17D010  
リリース日 : 2017/4/19  
適用OS : RedHatEnterpriseLinux7.2(x64)  
出荷形態 : CD-ROM

変更内容一覧)

CAPS for CARDNET Version1.6.0となります。

以下の対応を行っております。

(1) RedHatEnterpriseLinux7.2(x64)

CAPS for CARDNET Version1.6.0として  
RedHatEnterpriseLinux7.2(x64)に対応致しました。

(2) ショッピングタンクファイルレイアウト

ショッピングタンクファイルのレイアウトを変更致しました。

[追加項目]

- ・外貨建て取引金額
- ・換算レート
- ・外貨建て取引通貨コード

[変更項目]

- ・カードネット拡張予約域 桁数の修正 (181桁→200桁)
- ・予備 桁数の修正 (2桁→1桁)

(3) 取引結果データベースレイアウト

取引結果データベースのレイアウトを変更致しました。

[追加項目]

- ・外貨建て取引金額
- ・換算レート
- ・外貨建て取引通貨コード

[変更項目]

- ・カードネット拡張予約域 桁数の修正 (192桁→208桁)

(4) SSL暗号化通信機能

ユーザAPのSSL暗号化通信機能としてTLSバージョン1.2に対応致しました。  
また、SSLバージョン3.0は廃止致しました。

(5) E電文の「宛先センタID」設定内容変更

CAPSからユーザAPIに送信するE電文の「宛先センタID」に、従来CARDNET応答電文の「差出センタID」を設定しておりましたが「宛先センタID」を設定するよう仕様改修致しました。

(6) CARDNETシミュレータの機能改善

- ・シミュレータの画面にて、シミュレータから送信する応答電文の「国内レスポンスコード (BIT48)」の先頭2桁 (設定フラグ) を設定できるように対応致しました。
- ・シミュレータのシナリオ機能にて、共通制御ヘッダ部の編集用コマンドを追加致しました。
- ・シミュレータの取引業務機能にて、応答電文編集ファイルの「精査日 (BIT28)」に日付の指定がない場合はカット対象日付を設定して応答電文を送信するよう対応致しました。

適用される修正モジュール)

全モジュールの入替が必要となります。

注意点その他)

◆動作環境

- (1) 本製品が動作する前提としてサーバにJRE1.8.0.121 (64-bit版) の導入が必要となります。
- (2) 導入したJREに対して、JCE管轄ポリシーファイル (無制限強度) を適用する必要があります。
- (3) 運用管理ユーティリティ、CARDNETシミュレータが動作する為に、GUI環境 (XWindow等) が必要となります。ディスプレイの解像度は1280×1024ピクセル以上が必要となります。
- (4) CAPSにて出力するショッピングタンクファイル、取引結果データベース出力データは、バージョン間で互換性はありませんので、そのまま引き継ぐことはできません。

◆Version1.5.1.1からの変更内容

- ・以下の定義内容を削除致しました。

[CAPS本体・API定義 API\_SYS\_DEF.properties]  
SSLプロトコル (SSL\_PROTOCOL) のSSL

[APIクラスライブラリ定義 apiclasslibrary.properties]  
SSLプロトコル (SSL\_PROTOCOL) のSSL

////////////////////////////////////

本件に関するお問い合わせは、弊社パッケージサポートセンター までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

以上